

2017年尿道留置カテーテル関連感染サーベイランス

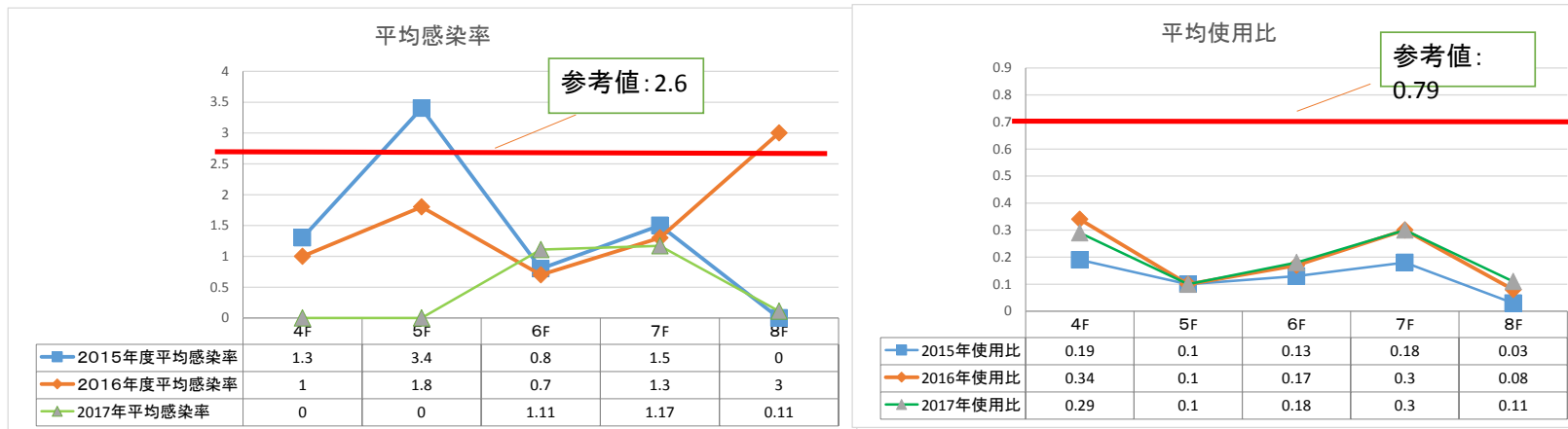
院内感染対策委員会 ICT

期間: 2015年1月～12月 2016年1月～12月 2017年1月～12月

NHSN: 感染率: 2.6 使用比: 50%タイル値 0.79

対象: 4F～8F病棟

算出方法: 感染件数/延べ医療器具使用日数×1,000 使用比: 延べ医療器具使用日数/延べ患者日数



(評価)

・尿道留置カテーテル感染についてサーベイランスを開始して3年目となった

使用比は0.79のため、当院では0.19で下回っている。使用比は昨年度とほぼ変化はない。参考値では低値で経過している。感染率は病院全体の平均は低下している。

2016年は定期交換の廃止と、カテーテルの固定を始めた2年目となったが大きく、感染率に影響はなく問題なく経過していると評価した。

2017年は残尿チェックエコー導入など、てより適正なバルーン管理につなげることが可能になっている。期間をみて評価していきたい。